

ひろげる つながる ろうけんの輪

ろうけん

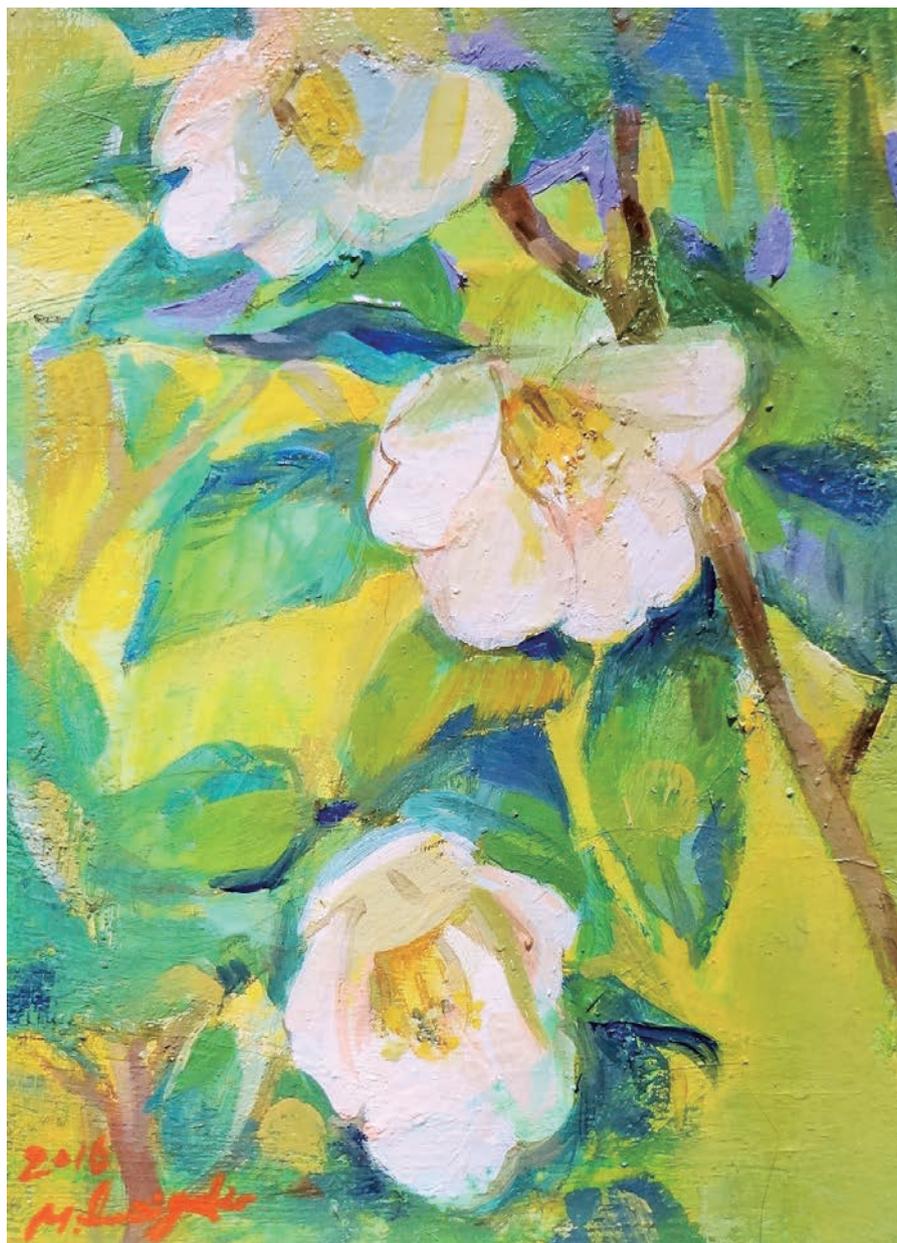
ROKEN Kagoshima

鹿児島



No**103**

令和3年(2021)
4月1日発行



「白い椿」 祝迫正豊

INDEX

時代を読む	1
上川路 長生	
県老健協会 下鶴毅事務局長に対応聞く 「応援派遣」想定し備え 県との連携が功を奏す	2~3
研く 究める	4~9
こぼれおちたものもの ²⁷	10
三角 みづ紀	
日本遺産・薩摩の武士が生きた町 ⁷	11
下鶴 弘	
ぶらぶらが素敵 かごしま ⁰³	12~13
ふるさとフォーカス	14
ろうけん広場	15
介護用品あれこれ	16~18
協会だより	19
あなたの地域の介護老人保健施設	20~24
伊佐・始良地区 日置・川薩・北薩地区 鹿児島地区 曾於・肝属地区 南薩地区・熊毛・大島地区	
表紙絵	
「白い椿」	25
祝迫 正豊	
編集後記	25

ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の78カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。

時代を読む

『雑感』 コロナ禍に挑む

鹿児島県老人保健施設協会 監事

上川路 長生



コロナ禍の非常時の日々にも、春の訪れは必ずやってくる。鹿児島市の吉野公園や平川の錦江湾公園では、梅の花の甘い香りがただよみ、越冬した出水の万羽鶴は再来を約して、北帰行していった。2月1日、沖繩や宮崎では無観客でプロ野球のキャンプが始まり、大リーグ・田中将大選手のいる球春が到来した。今、会計事務所では確定申告に向けて、肅々と事務を進めている。

南日本新聞のコラムに、以下の文章をみつけた。「通勤途中、前の車の後部ガラスに紙が貼られているのに気が付いた。鹿児島県内在住です」と書かれていた。ナンバーは首都圏にある地区だった。理不尽な攻撃に対する自衛策だ。コ

ロナウイルスは体を痛め蝕むだけでなく、感染していない人の心まで混濁させた。毎日毎日、奮闘する医療従事者の家族に対しての誹謗中傷もひどいものだ。デマがはびこり思いやりと支え合い他人の痛みを分かち合える心を、ウイルスは奪ってしまった。

もはやクラスターはいつどこで起きてもお不思議ではなくなっている。鹿児島県老人保健施設協会は、今村英仁会長を中心に老健版対応マニュアルで、職員応援派遣制度の構築に取り組んできた。必要があれば鹿児島県下の老健全体で応援派遣すると決め準備万端整えられていた。そこに垂水市のコスモス苑で県内老健施設初のクラスター発生が報告された。急遽、臨時理事

会がZOOMミーティングで開催され、職員応援派遣の対応等について議題が決議された。オール老健の底力を発揮する機会となった。介護施設は、長引くコロナ禍の中で経営は苦境にさらされている。東京商工リサーチによる直近の倒産・休廃業に関する報告では介護小規模零細事業について、顕著に厳しい現実をつきつけている。現在はコロナ禍への各種支援策による補助金・助成金・金融支援により何とか事業を継続している事業所は多いが、これらの支援がいつまでも続くものではない。支援が途切れた途端に、倒産・休廃業が加速しないか心配されている。事業継続のためには、自力での経営改善を急がなければならない。

全老健漆原彰名誉会長は、第29回全国記念講演で、「選ばれる老健になるために」をテーマにして話されている。①相手の立場に立ち相手の目線に対応する。②要望にはしっかり準備して、決してNOと言わない姿勢が大事である。③地域や介護家族から高い評価を受けて、立派な施設と口コミで広めてもらう。など、この施設に任せておけば大丈夫と評価され、地域から厚い信

頼を勝ち取れば、選ばれる老健になれると提言されていた。

コロナの世界の感染者が、1億人を超え世界人口の77人に1人が感染した計算になる。感染者数は11月上旬で5000万人を超えてから約2か月半で倍増した。感染の早期収束のためには、ワクチン接種が切り札といわれる。ワクチンを急ぐのは医療崩壊の危機から脱するため、東京都で医療供給体制の警戒度が最も深刻な「逼迫している」に引き上げられた。そして経済社会活動の復活も喫緊の課題である。人の移動の制限や飲食店の時短営業要請がこのまま続けば、日本経済は壊滅的な打撃を受けてしまう。ワクチン接種のため会場確保や医師らの人員確保を確実にして、「経験のないミッション」の接種開始に向けて準備を急がなければならない。

明けな夜はないといわれる。利他の心で我慢の時を過ごしていきたい。



老健でクラスター発生 県老健協会 下鶴毅事務局長に対応聞く

「応援派遣」想定し備え 県との連携が功を奏す

垂水市立の老人保健施設「コスモス苑」で今年1月下旬、新型コロナウイルス感染症によるクラスター（感染者集団）が発生しました。感染者は最終的に入所者42人、職員17人、家族等3人の計62人に上りました。県老人保健施設協会（今村英仁会長）は、コスモス苑支援のため、会員施設から介護職2人を派遣、素早い対応は全国から注目されました。なぜスムーズに派遣ができたのか、浮き彫りになった問題点は何か。応援派遣のコーディネーターを務めた県老健協会の下鶴毅事務局長に話を聞きました。

「県老健協会は会員による応援派遣制度への理解を深めるため早くから取り組んできたようですね。」

「応援職員の派遣システムについては昨年夏ごろから、各ブロックの事務長会や理事会で検討を進めてきました。いろんな面で手探りでした。」

「コーディネーターとして最も気を使った点は？」

「派遣の判断にあたって本当にグリーンゾーンが設定できたのか、繰り返し県の窓口を確認しました。一義的には県の衛生部局（保健所）の所管で、情報が錯綜し、確認に最も時間が掛かりました。途中から県にゾーニングの図面を求めることにしたのは正解でした。100%の危険除去は困難かもしれませんが、グリーンゾーンの可能な限りの設定確認ができてから派遣調整は加速しました」

「派遣期間はどのくらいでしたか。」

「県と派遣先との調整で2月3日〜9日までの1週間とされました。当然派遣元はシフトの都合もありますし、健康観察期間（1週間程度）も考慮する必要があります」

「派遣に当たり職員の方に気持ちよく仕事をしてもらうための衣食住関連で配慮した点はありますか。」

「今回は事業者が垂水市という公的セクションだったので、宿泊場所の市内のホテルの手配はスムーズでした。ミッション終了後の健康観察期間の滞在ホテルも併せて確保しました。食事について朝食はホテル、昼食は施設、夕食は垂水市か

た。今村会長が全老健の副会長を務めていることもあり、全国的なクラスター事例を基に、県と情報共有するとともにスキーム作りに取り組んできました。県の新型コロナウイルス感染症対策本部介護・福祉施設班での議論を通じて、県とのパイプが強まったことにより、早い時点での応援態勢の構築につながったと思います」

「クラスターが発生した施設に応援を派遣するといっても、各施設が一律に対応するには無理がありますが。」

「県内には老健が6ブロックに78カ所あります。老健でクラスターが発生した場合、ブロック内の近隣老健施設から応援を出すことを念頭に話を進めてきました。ただ、施設運営の母体には大小があり、派遣が困難な施設もあります。このことを踏まえ、応援派遣の名簿作りは時間を掛けて丁寧に進めることができました」

「手当てしてもらいました。他方、1月20日に全老健からN95マスクや防護服など衛生資材提供の申し出があり、翌日には届いたそうです。県や市からもストック提供があり、衛生資材は十分に確保されたので、フルPPE（個人用防護具）での介護も可能な状況となりました」

「一連の作業を通して感じたことは。」

「今回出来たばかりの冊子『対応マニュアル』を片手に垂水フェリーに飛び乗りましたが、次はこういう手続きが必要とフロー図を見ながら頭の整理ができたことはいい経験でした。派遣に当たっては職員の傷害保険加入が最低要件となりました。県からの派遣調整依頼があったことや派遣期間などを記載する『ヒアリングシート』を速やかにアクセスする必要があります。派



冊子「対応マニュアル」

とにしました」

「スピード感が求められていたと思いますが。」

「応援派遣名簿は出来ていましたので、いつでも対応は可能でした。しかしながら、今回は入所者全員（42人）を県内各地の医療機関へ搬送・入院させたことから、直ちに職員不足には陥りませんでした。これは、最初の陽性者確認後、3日目の午後には現地支援調整会議（老健協会を含む地元医師会・消防署など10機関25人）が迅速に開催されたことから、連携がスムーズに行ったことが大きいと思います」

「実際の派遣要請はいつ頃ですか。」

「県から派遣要請があったのは現地支援調整会議から10日余り経ってからです。それまでコスモス苑と隣接する垂水中央病院と連携しながら、懸命に自助努力されていまし

遣元からの入金があつてから初めて全老健（申込者）が保険代理店と契約することになりましたが、今回はたまたま平日だったので、速やかな対応ができましたが、このタイムラグには留意しておく必要があるようです」

「他の施設で留意してほしいことはありますか。」

「感染要因ははっきりしませんが、職員間での休憩や食事、喫煙などでマスクを外すといった瞬間が感染拡大につながったのかもしれない」

（米森編集員まとめ）

謝辞

このたびの垂水市立介護老人保健施設コスモス苑でのクラスター発生に際し、皆様お忙しい中、多大なるご支援をいただき誠にありがとうございました。とりわけ職員が疲弊する中での、応援派遣にはただ感謝するしかありませんでした。

おかげさまで2月9日の全入所者および全職員に対する新型コロナウイルス

たが、職員の疲弊度もピークに達していると聞きました」

「うれしかった点は何ですか。」

「応援派遣はまずコスモス苑が属するブロックからということで、曾於・肝付地区の取りまとめ役の事務長に朝一番に相談したところ、すぐに各施設に声を掛けていただきました。午前の早い段階で最初に表明があった『サンセリテのがた』の1人に決めました。ほかの4施設からも、「検討に時間が掛かったが、もし交代要員が必要なら、次はうちから指名してほしい」という心強い回答がありました。人員もギリギリの施設からの申し出で胸が熱くなりました。一方、今回1名の派遣をいただいた鹿児島地区の『愛と結の街』は最大の名簿登録者数で介護職や看護職以外の職員の登録もいただきました」

ナウイルスPCR検査では、念願の全員陰性を達成することができました。これも皆様のお力添えの結果だと、感謝の気持ちでいっぱいです。今後もお力をお借りすることがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

2021年2月12日
コスモス苑施設長 福本伸久 拝



県老健協会 事務局長 下鶴 毅

〔垂水中央病院から〕



絆の強さを物語るエールの交換



〔コスモス苑から〕

研く究める

よりよい介護を目ざし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

四季折々の行事に心を込めて！ 感性豊かに五感に訴えるお食事を

老人保健施設 ラポール吉井（南さつま市） 介護福祉士 村山 雄輝・管理栄養士 今村 文音

【はつめい】

ラポール吉井では、1年を通してめぐり来る四季折々の行事に季節感あふれる食事を美味しく召し上がって頂くために、スタッフ自身も季節を愛で感じ、その気持ち大切に感性豊かに料理作りによりそむよう心掛けています。さらに季節を感じて頂ける食材とそれに見合ったお皿やお重など、見た目も美しく豊かな食卓になるように心遣いをしていきます。そこで開設当初（26年前）から取り組んでいる四季折々の行事食について報告する。

① 七草がゆ 7日は七草粥（もちは入れず）を無病息災や長寿を願い差し上げている。
お花見 満開の桜のもと、手作りのお花見弁当や花見いなり、さくらゼリー等、やさしい色づかいで春の息吹や風を感じて季節を楽しみます。

② みなから召し上がっていただく。
（写真②）
お月見 月見にちなんだ献立と、月見うどん、お菓子（だんごは出していない）などを提供する。夜はほつかり浮かぶ月を眺め、中庭で秋の果実・お菓子・梅酒などで観月を楽しむ。



写真①【元旦のお料理】おせち料理（常食）



写真①【元旦のお料理】おせち料理（ソフト食）



写真③敬老の日 手作りの祝い膳



写真②お花見弁当

敬老会 手作りの祝い膳で、敬老と長寿を祝う。ご家族もお招きする。（写真③）
クリスマス会 Xmasらしくしつらえたロビーで、ツリー型でクリスマス絵が描かれているお皿と、ひいらぎのリースに縁どられた丸型の美しい二種のお皿に盛り付ける。クリスマスケーキもご家族と一緒に召し上がって頂く。（写真④）

【結果】
お正月は1日と2日に日替わりでおせち料理をお出しして、おいしく美しいと好評である。新年を家族とお過ごしになれなかった方も、お正月の雰囲気を感じて長生きして、「縁起の良い年を迎えられた」と喜んで下さる。他施設のデイケアに行かれていた数名へも例年お正月はお食事（1・2日の昼食）を提供し、一人ぼっちのお正月を過ごされていた方々の心の癒しとデイケアの取り組みを行っているところが少ないため）

敬老会のちらし寿司や赤飯・お刺身・秋野菜の天ぷら・柿なます・栗ごはん・芋羊かんなどの、秋にちなんだメニューはご家族からも好評である。
クリスマス会は、ロビーを大人の感性できれいにしつらえ、半数以上のご家族を毎年お迎えしている。ケーキはご家族にも差し上げ、楽しいひと時を共に過ごされ、笑顔いっぱいのお正月は私達にとっても励ましと意欲の向上にもつながっている。
大晦日の夕食に年越しそばとかわりご飯を添え、一年を感謝する。

【はつめい】

四季折々の行事食に心を込めて取り組み、ご入居の方が生きる喜びを感じ、眼を輝かせてお食事を召し上がる姿は、私達にとって大きな励みになり、又、クリスマスも半数以上の方のご家族（お孫さん）と共に過ごされるひとときは、絆も強まり、ご家族の再構築にもつながることに喜びを感じています。

今後もうれしい笑顔を励みにアイデアと工夫を重ね、私たちも料理をつくる喜びと幸せを大切にしていきたい。



写真④クリスマス料理

「こんなに美しくおいしいお節料理を食べることができて嬉しい」、「きれいなお節料理は見ていて心が華やき、今年は縁起の良い年を過ごせそう」と喜ばれる。
お花見では、ご入居の方全員と満開の桜を眺め、手作りのお花見弁当を召し上がり、ご家族もお招きし、「来年も桜をみてこんなおいしいお弁当を食べられるように頑張ってください」とうれしい笑顔がみられる。

野の花会のお食事について

一番人気の献立はお刺身とうなぎです。お刺身は4月と10月に週2回、月8回（医師にも相談して天候の良い、この月に決めています。）
うなぎは毎月1回提供しています。

行事食

- 1月/1日、2日 おせち料理（ちらし寿司、赤飯、昆布巻き、栗せんざい、小豆など）をお重で。
- 7日/七草粥（おもちは入れず、七草のみ）
- 11日/鏡開き おやつ時間帯にせんざいを差し上げる。（お餅に工夫）
- 2月3日/節分 豆にちなんだ料理をつくる。大豆ご飯をはじめ他の豆ごはん、煮豆、呉汁など。
- 3月3日/ひな祭り ちらし寿司、花見いなり、菜の花のおひたし、白身魚のお吸い物
- ケーキまたは和菓子（ひな祭り仕様）、ひなあられ、三色パロア等

- 8月/お盆 精進料理 煮しめ、かいこの汁、とろてん、いとこ煮、新さつま芋、冷ソーメン
- ※動物性の食品使用をなるべく控え、精進料理に近い献立を作成する。鹿児島島になじみ深いお盆にちなんだお菓子、すいか
- 9月/（敬老の日前後） 松花堂弁当、月見弁当、月見菓子、芋煮
- 9月・10月/十五夜 月見うどん、栗ご飯、菊の酢の物、茶巾しぼり
- 11月/けんちん汁、お赤飯、ゆで里芋、菊の酢の物、七五三にちなんだお菓子
- 12月/クリスマス会 Xmas料理（洋風和風）をツリー型のお皿で

- 冬至 冬至かぼちゃ（かぼちゃの煮つけ）、柚子味噌和え、いとこ煮、小豆粥、きんかん甘煮、大根の田楽
- 大晦日/年越しそば（かわりごはんを添える）

研く究める

よりよい介護を日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

「ONE TEAMで取り組み！」
褥瘡ゼロを目指して」

介護老人保健施設 指宿やすらぎ園（指宿市） 理学療法士 大西 伸市
共同研究者／介護福祉士 下田 哲也

【はじめに】

当施設は入所100床、平均年齢85.6歳、平均要介護度3.9（要介護4・5の割合68%）とADL全般に介護を必要とする入所者様が多く、平均入所日数は1040日となっている。

私は当施設へ入職して3年が経過した。介護度の高い入所者様は日常生活を施設スタッフへ委ねているのが現状で、臥位や車椅子坐位での生活時間が1日の大半を占めている。ポジショニングケアが不十分であると入所者様は不快と苦痛を強いられ、ポジショニングケアの質の向上は重要な要素となる。

そこで、褥瘡対策委員会と共に現状でのポジショニングケアにおけるハード面とソフト面の問題点を抽出し、改善へ向けた取り組み

と経過、今後の課題をここに報告する。

【問題点】

- ① ポジショニングクッションの不足と不適切（御家族様の準備で、大きさ・形・硬さがバラバラ）
- ② 知識・技術不足と伝達・拡散が難しい
- ③ 褥瘡への認識不足（褥瘡は医療事故であり人災である事）

【取り組み】

- 平成30年5月2日 褥瘡とポジショニングについて施設内勉強会開催（50分）（写真1）
- 平成30年7月～8月 代替えクッションの制作（100個）（写真2）
- 平成30年8月 褥瘡対策委員会とクッション使用開始（縦長タイプ

- 平成30年9月 褥瘡対策委員会と導入クッションの検討と選考
- （選考条件）
- 1. 洗濯が出来る
- 2. 通気性が良い
- 3. 重量がある
- 4. 高価でない
- 平成30年10月11日 クッション導入・運用開始（縦長タイプ



写真2

写真3



写真1

120個 枕タイプ60個（写真3）
平成30年11月～12月
新規導入クッションでのポジショニング研修会開催（12回／1回25分）（写真4）
令和元年 7月～8月
シーティング研修会開催（19回／1回25分）（写真5）

【結果】

褥瘡に対するハード面（クッション不足）とソフト面（知識・技術・認識）の改善を行った。取り組みを行う中で褥瘡数の増加があった。原因として、①最初のポジショニング研修会の開催回数が3回で「伝達と拡散」がうまく行かなかった②体交時間を3時間毎（右⇓左）から2時間毎（右⇓上⇓左）へ変更してスタッフの混乱を招いたが考

えられる（グラフ1）。褥瘡数をゼロにする事は出来なかったが確実に減少している。また、スタッフ間での意見交換や理学療法士に対する問い合わせが増え意識改革は出来ている。

【考察】

今回、理学療法士と褥瘡対策委員会が中心となり褥瘡ゼロを目指した。取り組み前のポジショニングはクッション不足もあって「つもりポジショニング（何となくクッションが敷いてあり除圧不足）」が見受けられていた。ポジショニングクッション導入の準備を進め、取り組みの中で「伝達と拡散」の難しさが浮き彫りとなった。対策として1回の研修会を時短し回数増加でポジショニングケアの質の

向上を目指した。また、褥瘡は臥位のみで発生するのでなく坐位でも発生するのでシーティング研修会も同様に開催した。褥瘡ゼロに至らなかった原因として、医師⇓看護師、看護師⇓介護福祉士、看護士⇓管理栄養士、褥瘡対策委員会⇓理学療法士と相互間での連携は取れているが（図1）、チーム連携が十分に取れていないのが原因の1つと考えられる。褥瘡（利用者様）と褥瘡対策委員会が中心となり、医師が褥瘡ステージ別の治療指示、看護師が的確な処置、介護福祉士が適切なケア、管理栄養士が栄養サポート、リハ職がポジショニング指導と知識を出し合い情報のパスを回し、スクラムを組み「ONE TEAM」で取り組

まなければ「褥瘡ゼロ」に至らないと思われる（図2）。褥瘡は医療事故であり人災である事から予防ができる。その為にも「先取ケア」が必要で個々に合わせた適切なポジショニングが重要となる。利用者様の中には拘縮等でポジショニングが容易でないケースもあり、個別ポジショニング表（写真6）の作成を行い「伝達と拡散」がスムーズに行われるようになればと思われる。
今後は知識や技術の向上を行なった上で介護ロボット（特殊マットレス）の併用も検討し、利用者様が在宅復帰を目指しながら快適な日常生活を送れるよう取り組みを継続して行きたい。



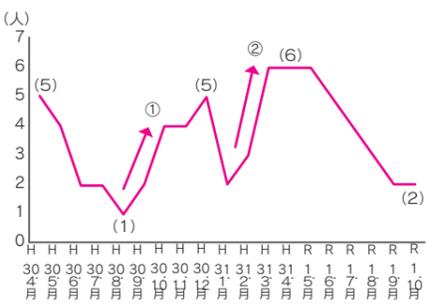
写真4



写真5



写真6



グラフ1

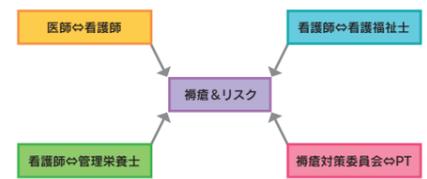


図1

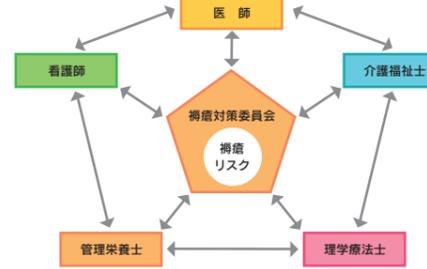


図2

研く究める

よりよい介護を日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

身体拘束廃止委員会の取り組み 利用者様の尊厳を損なわない介護を目指して

ユニット型老健グラシアージュ(出水市) ユニットリーダー介護福祉士 松岡 純子

【はじめに】
身体拘束廃止委員会では、毎月
の定例会、年二回の施設内研修を
実施している。施設内研修を実施
するにあたり話し合いの中で出た
意見として：

○委員会のメンバーが新しくなっ
たこともあり委員も改めて身体拘
束についての知識を深めたい。

○離床センサーについて、対応次
第では身体拘束行為になる事を職
員は認識できているだろうか、導
入時に説明を受けたが、理解を深
めてはどうか。

○センサーをよけて動こうとされ
た利用者様がおられた。監視され
ていると感じているのではないだ
ろうか。安全を理由に安易に自由
を奪っているのではないだろうか。

○高齢者疑似体験をしてみてもど
うか、少しでも利用者様の気持ち
がわかることで行動把握につな

るのではないか。
などの意見から、実施した施設内
研修の取り組み、実施後の職員の
感想、アンケートをもとに行った
検証について報告する。

【取り組み①】

研修名 「離床センサーについて」
身体拘束行為にあたるかを考える

目的 離床センサーが身体拘束行
為にあたるのか、資料をもとに研
修を行い職員の認識の変化を図る。
(当施設で取り扱う離床センサー
・眠りスキャン・センサーベッド・
センサーマット)
資料内容のポイント

・離床センサーを使用する上で利
用者様の行動を監視する以上、使
い方次第では行動の抑制に繋がる。
・身体拘束行為に当たるか否かは
利用者様が行動したいという自己



の尊厳を損なうか否かという点で
考える。
・介護者が利用者様の行動欲求を
阻害する介護行為を行うと、利用
者様の行動欲求が阻害されるだけ
であり、利用者様の尊厳を損なう
身体拘束行為にあたるのは明らか
である。

【結果】

①使い方次第で

・離床センサーが身体拘束の一つで
あると理解できた。
・転倒防止に繋がりが良いと思っ
ていたが利用者様の尊厳に関わる事
を理解できた。
・安全と拘束が紙一重である事を
感じた。

②介護する側として

・利用者様の気持ちや欲求を考え
支援していききたい。
・行動の手助けになるような使い
方が出来ると良い。
・見守られていると感じるように
活用していききたい。

研修を通して「離床センサー」
に対しての認識の変化が見られた。

【取り組み②】

研修名 「高齢者の疑似体験を通
して」高齢者の身体的変化の理解

目的 高齢者の身体的変化を理解
し、身体拘束(身体的言動・精神的)
への意識向上を図る

内容 高齢疑似体験システムを社
会福祉協議会より借り受け、「若い
(シニアポーズ)を疑似体験しても
らう。三名の職員に七つのシミュ
レーターを装着し体験を通して感
じた事を話してもらおう。その上で
利用者様が抱えているストレスな
状態を理解する事で一方的に動き
を止めるのではなく、行動の理由

を聴く事が大切である事を理解し
てもらう。

【結果】

①疑似体験を通して
・拘縮がどれだけ不自由やストレ
スを感じるか認識できた。

・少し動く事に時間と体力を使う
事が理解できた。
・利用者様の不安や不穏になる気
持ちは理解できた。

②介護をする上で
・利用者様が動こうとする思いを
理解し気配りをしていきたい。

・目線を合わせて低い姿勢で対応
していききたい。

・利用者様に合った車椅子やベッ
ドの配置等自力で負担なく出来る
ように支援していききたい。

体験を通して、利用者様の「思い」
を知る事が大切であり「思いやり」
を持つて介護を行いたいという意
見が多数挙がりました。

【まとめ】

「離床センサー」を使用する事で、
転倒防止、安全へと繋がっている。
研修を通して、身体拘束行為に
対して理解が深まり、職員の認識

の変化が見られた。

私達は日々悩みながら、利用者
様の「思い」を知る事で、行動に
は理由があると考え、傾聴し気持
ちを理解して対応を行っている。
今後も利用者様に安心して頂け
るよう、より良いケアに繋がるよ
う委員会活動を取り組んでいき
たい。

〈参考文献〉

介護法務ドットコム「弁護士が
運営する法律情報サイト」



“若い” (シニアポーズ) 7つのシミュレーション

- ①視覚：白内障
- ②聴覚：老人性難聴
- ③肘拘縮
- ④円背
- ⑤肩関節拘縮
- ⑥膝関節拘縮
- ⑦内反尖足

取り組み②



こぼれおちた ものもの

27

三 角 みづ紀



新聞のように定期的に、自宅に配達される花が気になっていった。姉たちや友人たちが自室に切り花を飾っている写真を見て、羨ましくなる。いつぼうで、部屋を彩りたくなったら近所のお花屋さんへ買いに行けばいいと考えつつ、なかなか行動に移せなかつた。なんてものぐさな性格だろう。

北国の春は遅い。いっせいに咲き乱れるのは五月から六月。鮮やかさに欠ける季節が物足りなくて調べたら、この土地では、廃棄される植物を安く届ける花の笑顔便という仕組みがあると知った。

捨てられてしまう花を買う。自分で選ぶと似たものばかり買ってしまうので、何が届くかわからないところに惹かれる。なにより名前が良い。ひとびとが笑顔になるだけではなく、花だって笑顔になる。まずは隔週で受けとるプランを

笑顔届ける花の便り



申し込んでみる。ことのほか高揚して、ポストがかたんと音をたてるのを待っていた。丁寧に束ねられた生花は薄い箱におさめられた状態で、我が家へ到着した。

はじめての花束は、ヤグルマソウ、リユーココリネ、スイートピーとハイブリットチース。青色があつまって、部屋の空気が心地良く

はりつめて、柔らかい。今週のお花と記された薄茶色の小さな紙が添えられている。うん、とてもいい。とりわけ気に入ったのはヤグルマソウ。触るとふわつとしていて一輪はかほそいが、きつとたくましい。茎がそう教えてくれる。

昨年末に白い花瓶を手に入れた。古い型押しミルクガラスの花瓶は、アメリカでは結婚式の贈り物として定番だったらしい。おおよそ五十年前につくられた乳白色のガラスは、縁があつてわたしの場所へやつてきた。

素敵な花瓶を手に入れたら、素敵な花を飾りたくなる。すべて出会いたったのだ。花瓶があつて、花を活けて、眺めて、再来週にはあたらしく届く。こういうのって、豊かだと思ふ。その豊かさを選択しているのは、わたしだ。

ヤグルマソウの花言葉は繊細。リユーココリネは温かい心。てらしあわせていたら楽しくなつてくる。紫色をしたスイートピーは永遠の喜び。

花言葉って誰が考えたのだろうか。文字をあつかう者として、植物が名前以外の言葉を持つていて、興味深い。ふと、花言葉みたいにも身近になつたらいいなと考へた。

「青の声」
階段をのぼる音がしたらそれは夕方の合図だった
投函されるものたちにもやつてくる理由があつて
ひらく ほどく 優しく
うけとめる気持ちがあり
満開になるまで咲いている

短い旅をしてきた植物が、リビングで笑っている。それは形容にすぎないけれど、笑っていると考へたらうれしくなる。朝になつたら流しへ運び、水を替える。茎のぬめりを洗い、必要になつたら斜めに切る。毎日ちがう表情をしている。

この子たちはわたしのために生まれてきたわけではなくて、偶然にここへやつてきただけ。それならば、ますます大切にしようと思ふ。いつか枯れるのはわかっている。だからこそ、その日まで、せめて大切に。わたしの手で大切に命を長らえさせて、枯れていく姿を直視したい。

三角みづ紀(みづき、みづき) 1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い、国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回(平成26年度)萩原朔太郎賞受賞。

日本遺産

薩摩の武士が生きた町⑦ 鹿児島市



鹿児島市の外城(とじょう)制度の本城は、鹿児島城である。薩摩藩主の島津氏は鹿児島城を中心に、藩内一三の外城を設け、島津一家や重臣の領地である私領を設け、島津家直轄には地頭仮屋を配置し、独自の防衛体制を築いた。鹿児島城下に住んだ武士は、「郷士」とよばれた。鹿児島城の範囲は、城山と山麓の本丸二之丸跡を含み、居館の外堀である吉野橋堀と俊寛堀の間とされ、面積は約八五ヘクタールである。

城山の北半分が国の指定史跡であり、曲輪や土塁、空堀が残る。山麓の本丸跡高石垣と外堀及び御楼門部分、そして私学校跡石堀が県指定史跡であり、日本遺産の構成文化財である。御楼門は昨年完成した。本丸跡にある黎明館の常設展示には、麓の発祥元となる中世山城や麓集落の精巧なジオラマがある。現在、鹿児島県及び鹿児島市において、鹿児島城跡に関わる発掘調査が続けられており、新たな鹿児島城跡の姿が期待されている。



鹿児島城跡 御楼門

鹿児島城跡は、別名鶴丸城とも呼ばれ、県民に親しまれている。この場合、山麓の屋形を指しているが、文献によれば、江戸時代中頃に嘉祥名として城山を含めて鶴丸山の城と呼んでおり、次第に居館のみを鶴丸城と呼ぶようになっていく。古い航空写真を見ると、確かに城山から冷水までの浸食された丘陵は、翼を広げた鶴が群舞している様に見える。

《鹿児島城跡の構成文化財》
1. 鹿児島城跡(城山)
南北朝時代は上山氏の山城であったとされる。シラス台地特有の地形

を生かし、慶長六年(二六〇一)島津家久が居城に選び、山麓に居館を加え、鹿児島城となった。土塁や空堀など当時を偲ばせる遺構が残る。城山は植物が六百種類以上確認されており、自然の宝庫として天然記念物にも指定されている。

2. 鹿児島城大手口跡
島津家久が城山を居城に選んだ時に整えられた三口番所(ミクチパンドロコ)の一つ。現在の照国神社西の登山道入口付近と推定されている。

3. 鹿児島城新照院口跡
城山を居城に選んだ時に整えられた三口番所の一つである。大手口と同様に衛士が配備され城山への立入を制限した。絵図により、新照院越を登り詰めた所と推定されている。

4. 鹿児島城岩崎口跡
城山への三口番所の一つ。衛士が配備され、城山への立入を制限したという。岩崎谷入口付近(JRの踏切周辺)と推定されている。

5. 鹿児島城本丸跡
島津家久によって造られた島津家の居城である。本城ともよばれ、城下町形成及び外城制度の中心となった。明治六年(一八七三)に本丸は焼失したが、石垣や堀など当時の面影を残している。現在は鹿児島県歴史美術センター黎明館となり、令和二年(二〇二〇)三月には御楼門が完成した。

6. 鹿児島城二之丸跡
藩主の嫡子や隠居した藩主が居住したところ。明治十年(二八七七)の西南戦争で焼失した。現在の県立図書館の周辺とされており、石垣などにその面影を残している。

7. 探勝園
もと二之丸庭園で、藩主島津重豪の時に造られ、斉興の時に手を加え探勝園と名付けられた。幕末藩主斉彬が本丸との電信の実験を行った電信使用の碑や島津久光の像がある。

8. 照国神社
江戸時代は天台宗南泉院があつた場所。廃仏毀釈後、島津家の総社として鶴嶺神社が創建された。元治元年(一八六四)に島津斉彬をまつる照国神社となった。

9. 私学校跡石堀
江戸時代は御厩跡で、初代藩主島津家久によって創建された。明治維新後、征韓論により下野した西郷隆盛がここに私学校を設立し、西南戦争では激戦地となった。

10. 天保年間鹿児島城下絵図
2枚で一对の屏風に天保年間の鹿児島城下の様子を描いたもので、近世鹿児島城下の実情を具体的に正確に伝える歴史資料である。
【アクセス】車：鹿児島空港ICより鹿児島北ICへ鹿児島城跡(約55分)、鹿児島中央駅へ鹿児島城跡(約10分)(始良市歴史民俗資料館長 下鶴 弘)「日本遺産」は今回で終了します。



東温泉



竹島港

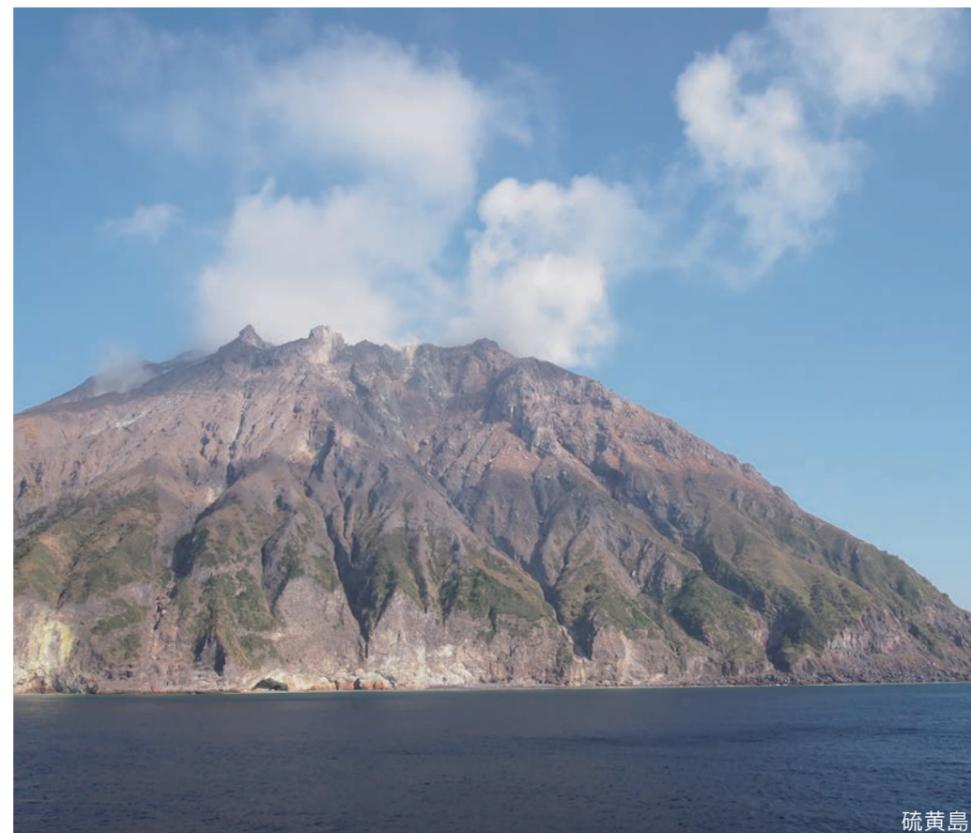


大里集落



片泊集落

竹島神社



硫黄島



竹島のカルデラ壁

ぶらぶらが素敵 かごしまがごしま

vol.3

東川隆太郎

NPO法人まちづくり地域フォーラム
かごしま探検の会代表理事



南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐるだけでも相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

「ワイルド」アイランド 三島村・三島の魅力再発見

三島村は、航路の順番で紹介すると竹島・硫黄島・黒島の三つの島からなる。どの島もそれぞれの自然景観や文化に彩られ魅力にあふれている。今回は、上記の順に私が思う島々の一押しスポットを紹介したい。

まずは竹島。鹿児島港から出航して約3時間で到着する。この竹島と硫黄島、さらに両島の南側に広がる海域で、鬼界カルデラと呼ばれる約7300年前の破局的噴火によって陥没した地形が確認されている。竹島には、そのカルデラ壁や噴火の痕跡を観察できる場所が至る所にある。そのひとつが玄関口である長浜港。港の施設の背後には、溶岩流や火砕流、さらに軽石層などが噴火の順番で重なる様子が表れている。それらによって竹島の台地は形成されていて、小学校や集落はこうした台地上に点在している。集落には竹島の鎮守神である竹島神社があり、境内には地元産の溶結凝灰岩を巧みに削った狛犬が奉納されている。これは江戸期に鹿児島から来た石工による作品である。

次の島は、硫黄島。フェリーが島に近づくにつれ、島の最高峰の硫黄岳の山頂や山腹から噴煙やガスが噴出しているのが見える。まさに活きた島である。かつては硫黄の採掘などを行っていた。さて、硫黄島港に入港するとさらに海面の色に驚かされる。海底からの温泉によって茶色く変色している。また巨大な壁のような岬も現れる。島全体が鬼界カルデラのカルデラ壁で、その一部が硫黄岳として新たに誕生して、今も活火山として噴煙をあげている。それだけに島には温泉が湧出し、硫黄岳山麓の東温泉は、野趣満喫の露天風呂である。もちろん料金は無料。

最後に黒島。黒島は大里と片泊というふたつの港があり、集落は、港の上方の斜面地にある。島の形状は屋久島に似ていて、しかも島の中央部には檜岳、帽子山や横岳山といった600級級の山々が連なる。これまでのふたつの島と違い、輝石安山岩が島全体を形成し海岸部などで確認できる。

三島村の三つの島はどれもワイルドで、もう一度見たくなる、訪ねたくなる魅力にあふれている。

（ひがしかわ・りゅうたろう）1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島の魅力を伝える活動を行っている。

ろうけん広場

スターガズラリ



「うふふ、優勝は私ね！」「いやいや、おれだよ！」。舞台上に桜島大根の「スター」たちがズラリ。「うーん、だれが一番かな」。観客席？の大根たちのささやきも聞こえてきそう。1月下旬に鹿児島市で開かれた「桜島大根コンテスト」の一場面。スタイル（形状・光沢）だけでなく重さも評価対象とのこと。

人鍋…!?



他にも種類あります。他に「もつ鍋 寄せ鍋 ちゃんこ 湯豆腐 美肌鍋 (銀定、ボネモシ) すき焼き しゃぶしゃぶ けんちん」。

ロケット



ここはロケット発射場？ 住宅を支える2本の柱がロケット仕様の家を鹿児島市天文館近くで見つけました。かわいいロケットは子どもたちが喜びそう。飲食店らしき看板には「種子島」とありました。



ミュージアム入り口では建機がお出迎え



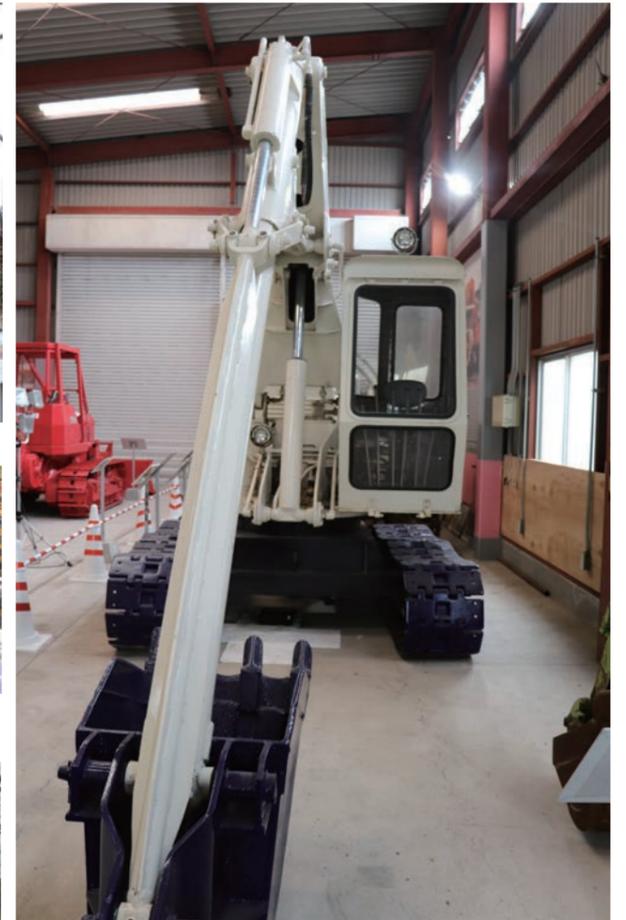
開放的な野外空間で多くの建機が展示されている



世界中から集めた建機ミニチュアは圧巻

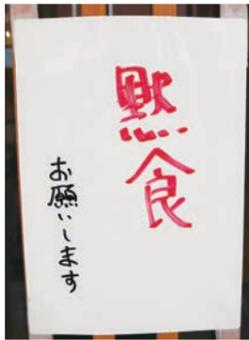


ミュージアム入り口



「未来技術遺産」に登録された「三菱ユンボ Y35」

コロナウイルス感染の広がり、町中で注意を促すいろんな看板を見かけます。



▲カウンターだけのラーメン屋さん。さすがにおしゃべりは避けたいです。

人の出入りが多い ▶ アミュプラザでも。



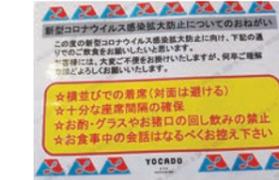
▲美容室入り口。横1柱を超えるようなサイズを目を引きます。



▲銀行のマスコットもマスクを付けて予防対策アピール。



▲厳しい張り紙ですね。



▲飲食コーナーのテーブルで見つけました。



▶ ホームセンター入り口。大きな文字でお客様にお願い！

建機ミュージアム (鹿児島市小野町)

希少な「未来技術遺産」も 人の腕のようにアームなどを動かし、先端のパケット(容器で土砂の掘削や積み込みをする。国産初で高性能のY35が業界に与えたインパクトは強烈で、他メーカーの油圧ショベルやパワーショベルも「ユンボ」と呼ばれるほどだ。野外展示では大規模な宅地や工場用地、ゴルフ場土木工事などで活躍した国産の建機を見ることができ、高速運転で大量の土砂運搬をするにも盛り土の転圧にも威力を発揮した。

高度成長を支えた建機を後世に伝えたい」と建設業を営む吉丸館長が2013年に開設した。県内外から見学者が訪れる。建機マニアだけでなく家族連れも多い。来訪者ノートには、「今はほとんど見られない重機を大切に保存していることは九州の誇りです」と書いていた小学生もいた。ミュージアムは原則月曜土曜午前10時～午後4時。入館希望者は前日まで099(282)5811に要連絡。大人1500円、学生以下は無料。(編集委員 米森)

建機ミュージアム(鹿児島市小野町、吉丸泰生館長)は、全国で活躍した建設機械を集めた博物館だ。なかでも国産初の油圧ショベル「三菱ユンボ Y35」は目玉。国立科学博物館が2016年、「未来技術遺産」に登録した。国内で現存するのは数台しかない貴重なもの。吉丸館長が岐阜県の建設業者から2013年に購入し

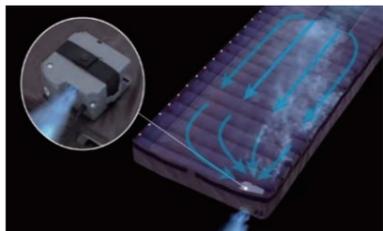
見上げるほどの大きさに圧倒され、車体はもろろん、大きなタイヤに息をのむ。現役時代は大きなうなりを上げて働いていた姿が想像できる。屋内展示場には、世界中から集めた建機ミニチュアが陳列棚に所狭しと並ぶ。子どもだけでなく、大人も心躍る。ミュージアムは「日本の

未来技術遺産

皆様のお便りをお待ちしております。

「ろうけん広場」欄の投稿を募ります。テーマは特に設けません。ふだん思っていること、身近雑記、エピソードなどファクス、メールでお寄せ下さい。写真は家族や仲間、ペット、風景など簡単なコメントを添えて。メール添付、または郵送をお願いします。ファクスは、099(206)1075=鹿児島県老人保健施設協会事務局。メールアドレスは、k-roken@po.minc.ne.jpです。

①「マイクロクライメイト対応」



直接体に外気を吹き付けない安心設計です。寝ている方の皮膚局所の温度と湿度の状態をより快適に保つことを実現します。

②「角度・時間管理アシスト機能」

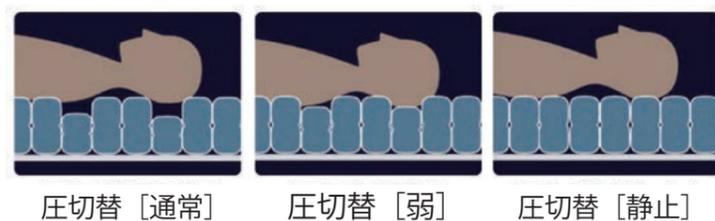


背上げ時の角度表示は、セミファウラー位の 15 度から 5 度刻みで液晶画面に表示。背上げ経過時間も表示されるので、経管栄養等のケア時間管理にも使えます。

③「背上げ時のずれ力軽減機能」



背上げ時でも 5 分間隔で圧切替ができ、局所の圧迫とずれ力を解放します。



「停電対策」、「メモリ機能」搭載。



停電の時、特殊なバルブがエアセル内の空気漏れを自動で遮断。最低でも 14 日間マットレスがつぶれません。メモリ機能により、電源復旧後は直前の設定に自動復帰。

介護用品 あれこれ

推奨福祉用具のご紹介

新たな床ずれ発生リスク「Microclimate(マイクロクライメイト)」に対応する次世代のエアマットレス～床ずれ防止マットレス「マイクロクライメイト ビッグセル アイズ」のご紹介～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 湯脇 稔

はじめに

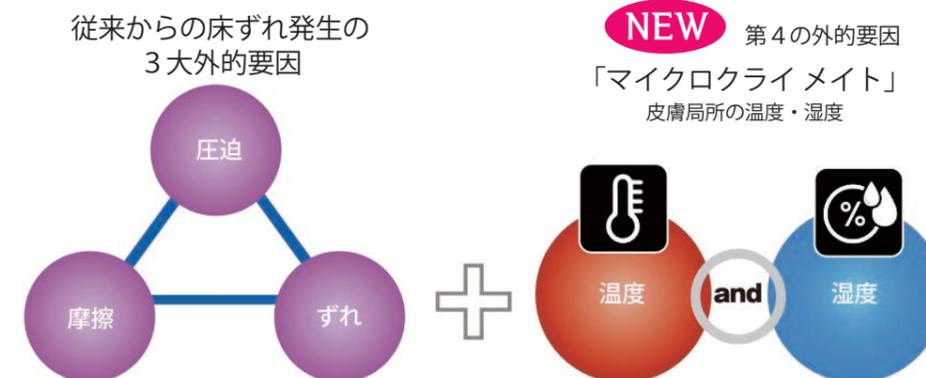
前は働く現場での腰への負担軽減から、日常のちょっとした力仕事のサポートまで、すべての人の健やかなライフスタイルを実現するために生まれたアシストスーツの「マッスルスーツ エブリィ」を紹介させていただきました。

今回は、新たな視点で床ずれ対策に有効なマットレスとして、昨年 11 月末に「株式会社ケープ」より新発売された「マイクロクライメイト ビッグセル アイズ」を紹介させていただきます。

マイクロクライメイトとは

「皮膚局所の温度・湿度」と定義されます。褥瘡予防や治癒促進には局所の「圧迫」、「ずれ」、「摩擦」を軽減するだけでなく、温度・湿度を管理する考え方が推奨されるようになりました。*1

この考え方は新たな褥瘡発生の要因として、2014 年版 NPUAP*2/EPUAP*3/PPPIA*4 による国際ガイドラインに追加されています。



3つのポイント

- ① マイクロクライメイト対応のファンモーターがエアマットレス内にこもった熱と湿気を吸い込み、外部に放出。24 時間、皮膚局所の温度と湿度の状態をより快適に保ちます。
- ② 背上げ時の看護・介護ケアをサポートする「角度・時間管理アシスト機能」でマットレスの状況が分かり、安心して介護ができます。
- ③ 進化した背上げ機能でマットレスに内蔵されたセンサーが背上げの角度を検知し、角度に応じて適切な内圧に自動調整します。

あなたの地域の介護老人保健施設 78カ所

⑫アンダンテ伊集院
〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
☎099-272-5181 FAX 099-272-5999

湯田内科病院
ケアセンターリエゾン日置
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)

⑬ラ・フォンテいづみ
〒899-0214 出水市五万石町281
☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008

しもそのクリニック
ラ・フォンテいづみ居宅介護支援事業所

⑭グリーンフォレストみかさ
〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1
☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238

黒木胃腸科外科医院
グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
阿久根市在宅介護支援センターみかさ

⑮ライフハーバーいちき
〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2
☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352

丸田病院
吹上園・市来松寿園
市来町在宅介護支援センター

⑯グレースホーム
〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧淵8920番地
☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313

上村病院
グレースホーム訪問看護ステーション
グレースホーム居宅介護支援事業所

⑰ゆくさ白浜
〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15
☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070

えんでん内科クリニック
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)
グループホームもせ

鹿児島地区

①城山老健
〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10
☎099-225-3582 FAX 099-224-4096

植村病院
ケアハウス出合い坂
居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出合い坂

②スイートケアなかよし
〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5
☎099-223-3390 FAX 099-222-6541

玉水会病院
いしき訪問看護ステーション

③城西ナーシングホーム
〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1
☎099-258-9180 FAX 099-257-5712

土橋病院
居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
デイサービスセンター ケアガーデン西田

③ニューライフいづみ
〒899-0217 出水市平和町336-1
☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161

吉井中央病院
ユニット型老健グランアージュ
鶴寿園(特別養護老人ホーム)

④長生園ナーシングセンター
〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3
☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120

永井病院
在宅介護支援センター 長生園
グループホーム 自立の家

⑤回生苑
〒899-1611 阿久根市赤瀬川551
☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788

内山病院
阿久根市在宅介護支援センター
桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)

⑥さるびあ苑
〒896-0002 いちき串木野市春日町63
☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873

宮之原循環器内科
串木野市在宅介護支援センター
慈正会居宅介護支援事業所

⑦シルバーセンター光の里
〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
☎099-273-5600 FAX 099-273-5700

ゆのもと記念病院
グループホーム あったかハウス
訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里

⑧グリーンライフ川内
〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633
☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570

今村クリニック(整形外科)
薩摩川内市在宅介護支援センター
薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)

⑨パラディーノほたるの里
〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5
☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007

立志病院
鶴田町在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所 パラディーノほたるの里

⑩グラン・ベリテひわき
〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2995
☎0996-38-2500 FAX 0996-38-2600

市比野記念病院
翠泉苑(特別養護老人ホーム)
指月苑(養護老人ホーム)

⑪湯の浦ナーシングホーム
〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353
☎099-296-5411 FAX 099-296-5422

外科 馬場病院
居宅介護支援事業所
(湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

⑦ろうけん始良
〒899-5652 始良市平松5062
☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474

希望ヶ丘病院
居宅介護支援事業所ろうけん始良
訪問介護事業所ろうけん始良

⑧青雲荘
〒899-5431 始良市西餅田3024番地1
☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255

青雲会病院
居宅介護支援事業所青雲

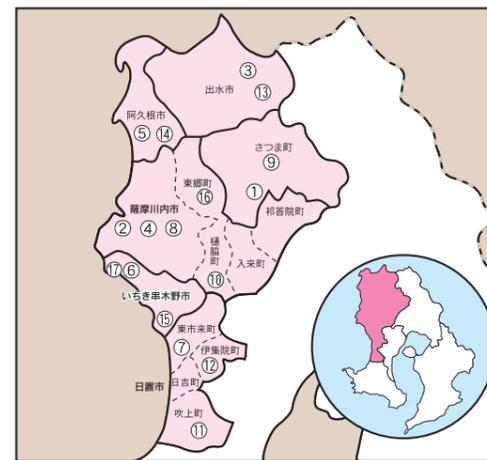
⑨アメニティ国分
〒899-4301 霧島市国分重久361-1
☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515

鶴木医院(指定介護療養型医療施設)
うのきデイサービス(認知症専用)
ヘルパーステーションアメニティ国分

⑩ろうけん大楠
〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1
☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338

ろうけん大楠グループホーム「たんぼぼ」
ろうけん大楠居宅介護支援事業所
大楠苑(特別養護老人ホーム)

日置・川薩・北薩地区



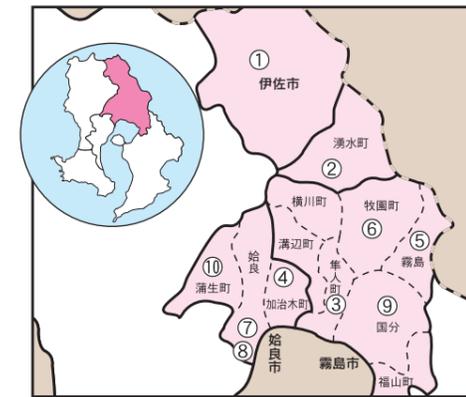
①クオリエ
〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8
☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134

クオラリハビリテーション病院
訪問看護・リハクオラU
グループホームアリエ

②あじさい苑
〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11
☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373

薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
きららクリニック
グループホームそら

伊佐・始良地区



①はやひと
〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33
☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868

大口温泉リハビリテーション病院
ことぶき園(特別養護老人ホーム)
グリーンハイツ周山(ケアハウス)

②寿芳苑
〒899-6202 始良郡湧水町北方1857
☎0995-74-3300 FAX 0995-74-2504

栗野病院
グリーン光芳(特別養護老人ホーム)
グループホーム愛の里

③希望の里
〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157
☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359

隼人温泉病院(療養型病床あり)
訪問看護ステーション姫城
グループホーム「ゆうゆう」

④シルバータウン加治木
〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1
☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756

加治木温泉病院
加治木望岳園(特別養護老人ホーム)
龍門の里(軽費老人ホームA型)

⑤きりしま
〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1
☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415

霧島杉安病院
訪問看護ステーションあんしん
グループホームゆめ

⑥サンライトホーム
〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617
☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387

霧島桜ヶ丘病院
霧島青葉園(身体障害者療養施設)
霧島青寿園(介護老人福祉施設)

⑦おさしお
〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1
☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501

グループホームきらら
長崎内科
陵幸園(特別養護老人ホーム)

⑧ハーモニーガーデン
〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43
☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802

平和台病院
介護保険相談センターハーモニーガーデン

⑨コスモス苑
〒891-2124 垂水市錦江町1-140
☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280

垂水市立医療センター、垂水中央病院
垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
居宅介護支援事業所コスモス苑

⑩みなみかぜ
〒893-2301 肝属郡錦江町神川88-1
☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105

肝属郡医師会立病院
居宅介護支援事業所みなみかぜ

⑪サンセリテのがた
〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3
☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201

はるびゆうクリニック
訪問看護ステーションふるる
居宅介護支援事業所サンセリテのがた

⑫ありあけ苑
〒899-7472 志布志市有明町野井倉8288-1
☎099-477-2331 FAX 099-477-2335

曾於医師会立有明病院
曾於医師会立訪問看護ステーション
曾於医師会立居宅介護支援事業所

⑬老健とうご
〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-11-12
☎099-472-1236 FAX 099-472-4640

藤後クリニック(有床診)
志布志訪問看護ステーション
橋友会介護支援センター

⑭絆
〒891-2104 垂水市田神3536番地1
☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163

池田温泉クリニック
グループホームひまわり苑
小規模多機能ホームひまわりの里

南薩地区

①指宿温泉菜の花苑
〒891-0402 指宿市十町418-1
☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239

今林整形外科病院
明正会介護支援ネットワーク菜の花
(居宅介護支援事業所)

曾於・肝属地区



①高原ナーシングホーム
〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1
☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530

高原病院
末吉町在宅介護支援センター
末吉訪問看護ステーション

②ナーシングホームひだまり
〒893-0024 鹿屋市下祓川町1853
☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727

池田病院
鹿屋長寿園(特別養護老人ホーム)
デイサービスセンター鹿屋長寿園

③ケアセンターやごろう苑
〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515
☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964

昭南病院
北地域診療所
大隅地域訪問看護ステーション

④老春苑
〒893-1207 肝属郡肝付町新富525
☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160

春陽会中央病院
高山町在宅介護支援センター
訪問看護ステーションたんぼぼ

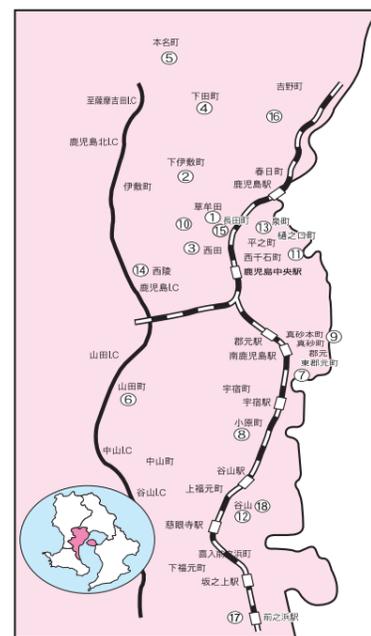
⑤ヴィラかのや
〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2
☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226

恒心会おぐら病院
居宅介護支援事業所ヴィラかのや
訪問看護ステーションことぶき

⑥つわぶき
〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3
☎099-472-5666 FAX 099-473-3494

病院芳春苑(精神科)
ケアハウスぬくもり
グループホーム南の家族

あなたの地域の介護老人保健施設 78カ所



⑬あさひ
〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
☎099-225-8660 FAX 099-225-8601

中央病院
桜島病院
桜島苑(特別養護老人ホーム)

⑭ナーシングホーム田上苑
〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18
☎099-283-0120 FAX 099-283-0517

田上記念病院
居宅介護支援事業所はるかぜ
クレセール天保山(介護付有料老人ホーム)

⑮ナーシングホーム城山の森
〒892-0854 鹿児島市長田町223
☎099-219-1122 FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科
博悠会温泉病院
特別養護老人ホーム城山の森

⑯ろうけん青空
〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7
☎099-243-4330 FAX 099-243-5599

内村川上内科
グループホーム帯迫&ひばり
小規模多機能ホームひばり

⑰サンシャインきいれ
〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1
☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里
新田クリニック
小規模多機能 前之浜

⑱光徳苑
〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515
☎099-260-9777 FAX 099-260-5093

④さくらんぼ
〒892-0873 鹿児島市下田町1759
☎099-244-8811 FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
ヘルパーステーションさくらんぼ
居宅介護支援事業所さくらんぼ

⑤吉田ナーシングホーム
〒891-1304 鹿児島市本名町472
☎099-294-4561 FAX 099-294-4562

吉田温泉病院居宅介護支援事業所
ヘルパーステーション ゆうばえ
訪問介護ステーション 夕映え

⑥フレンドホーム
〒891-0104 鹿児島市山田町450
☎099-260-6000 FAX 099-275-1309

Tsukasa Health Care Hospital

⑦鴨池慈風苑
〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6
☎099-252-8291 FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院
厚地リハビリテーション病院
在宅介護支援センター鴨池慈風苑

⑧愛と結の街
〒891-0111 鹿児島市小原町8-3
☎099-260-6060 FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
谷山病院
いづろ今村病院・今村総合病院

⑨ひまわり
〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81
☎099-285-2211 FAX 099-258-7971

大勝病院
訪問看護ステーション真砂本町
鹿児島市在宅介護支援センター真砂本町(居宅)

⑩まろにえ
〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45
☎099-226-3270 FAX 099-226-3271

米盛病院
マロニエ訪問看護ステーション「護国」
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所

⑪西千石
〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13
☎099-223-3300 FAX 099-223-3560

日高病院
介護相談センター西千石
ヘルパーステーション西千石

⑫フェニックス
〒891-0141 鹿児島市谷山中央1-4021-1
☎099-268-3636 FAX 099-268-2722

とまり泌尿器科

「白い椿」
祝迫 正豊

周辺の山々も山桜から新緑の風景となった。庭先の新芽からもほのかに快い香りを感じる。

コロナ感染が広がったこの1年を振り返ると、外出も少なく家にいることが多かった。家の本棚の整理、アトリエの絵道具の整頓、硬くなった油筆の洗浄もした。倉庫に重なった粗大ごみも一気に捨て、すっきりした。

台風シーズンを前にしたところには、いつも頼む業者に傷んだ家の外壁を修理してもらった。さらに屋根の張り替えとベランダのリフォームも一気にできた。コロナを忘れた時間でもあった。

息子の提案もあり、昨年の晩秋から古民家（頼娃の実家）の庭でパン窯造りに取り掛かった。セメントを練り、耐火レンガを積み、外部のピピットなタイル張り。予想もしなかったような日常が続いている。

窯の上部デザインはスペイン風の色調にこだわった。気に入った色のタイルは注文から手元に届くまで2週間もかかった。東京の義姉がイタリア産タイルを無償提供してくれた。建築家アントニオ・ガウディの色調には程遠いが模索中だ。じっくり腰を据えてマイペースで仕上げていきたい。

2月中旬、窯の火入れして一度パンを焼いてみた。海岸に打ち上げられた流木が主燃料。火付けは杉の枯れ葉、枯竹、枯れた小枝で、燃やすものに困らない。火の調節をして、窯の中を200度に安定させる必要がある。だが合格点には程遠い。

パン生地と発酵のタイミングは妻に任せた。昼食のテーブルは手作りパン、ピザと賑やか。パンの黒こげも食卓の話題の中心となった。

ここ数カ月、コロナ感染を気にすることなく、里山で過ごす週末である。パン窯造り、パン焼き、クッキー作りを息子家族、孫と楽しんでいる。

今も昔も実家の裏庭、雑木林は遊び場、大きなやぶ椿に集まる花吸いの鳥「ハナシ」がにぎやかにさえずる。花から花と小刻みに飛び回るメジロを見ていると飽きないが、赤い花と濃い緑葉の色の組み合わせが美しい。やぶ椿の花びらはひと重で、葉の緑に朱色が映えて何とも言えないコントラストをつくり出す。

椿は冬につぼみが膨らみ、2月中旬くらいから咲き始めた。今回の表紙絵「白い椿」は自宅庭先に毎年咲いてくれる5種類の椿のひとつだ。ワビスケに近い白い花を小さなキャンパスに描いた。



表紙絵 白い椿 (2016年作)



●作家略歴：祝迫 正豊 (いわいざこ まさとよ)
1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県展 県展賞(最高賞)
1992年 第77回二科展「二科賞」(最高賞)、他に会友賞、会員賞
1993年 文化庁現代美術展選抜展(全国巡回)
2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
2013年 日本・スペイン交流400周年記念展招待(マドリッド市)
現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、志学館中等高等部非常勤講師、鹿児島純心女子短期大学非常勤講師



ろっけん鹿児島 (令和3年春号) 通巻1006号 無料
令和3年4月1日発行
編集人 米 森 俊一
発行人 今 村 英 仁
印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-12
発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会
〒900-0063 鹿児島市中央町8番地1 県医師会館5F
TEL:099-201-0077 FAX:099-201-0078
E-mail:k-roken@po.mlc.ne.jp
Website:https://kagoshima-roken.or.jp/

編集後記

◇1月下旬、垂水市にある県老健協会の施設で新型コロナウイルスによるクラスター(感染者集団)が発生しました。その際、応援派遣のコーディネートをした下鶴毅事務局長の話が4月号で紹介されています。再びクラスターが起きることを考えたことはありませんが、いざという時に備えることの重要性を感じました。ぜひ参考に読んでください。

◇「日本遺産・薩摩の武士が生きた町」が4月号で終わります。全7回、始良市歴史民俗資料館の下鶴弘館長に執筆していただきました。ありがとうございました。すごかったです。毎回、造詣の深い内容で、特に歴史好きの方には読み応えがあったのではないのでしょうか。次回からの読み物もお楽しみに。(米)

【訂正】1月号2ページ、県老健協会30周年の見出しで「単人会」とあるのは「単仁会」の誤りでした。

編集委員 米 森 俊一(県老人保健施設協会理事)
加治屋 洋(さるびあ苑)
中飯屋 博(フレンドホーム)

熊毛・大島地区

①わらび苑
〒891-3101 西之表市西之表2981-1
☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601

医療法人義順顕彰会 田上病院
わらび苑居宅介護支援事業所

②沖永良部寿恵苑
〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1
☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650

福山医院

③虹の丘
〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800

虹の丘訪問介護事業所
虹の丘居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター虹の丘

④風花苑
〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5
☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012

龍美クリニック

⑤せとうち
〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913

奄美中央病院
南大島診療所

⑥アマンデー
〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1
☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099

朝沼クリニック(診療所)
居宅介護支援事業所たちがみ
在宅介護支援センターたちがみ

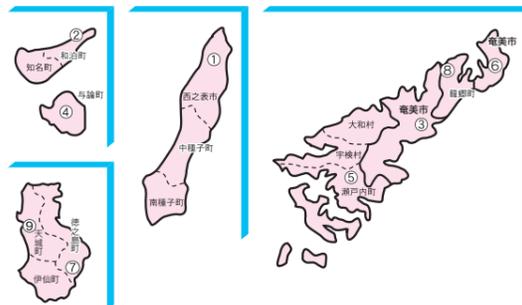
⑦サザンコート
〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268
☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093

医療法人南湊会 宮上病院
社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園

⑧秋名の郷
〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179
☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110

秋名の郷通所リハビリテーション
秋名の郷訪問介護事業所

⑨愛心園
〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地
☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



②かわなべ寿光苑
〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4
☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331

菊野病院
寿光苑在宅介護支援センター

③エスポワール立神
〒898-0048 枕崎市火之神町630
☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265

小原病院
立神リハビリテーション温泉病院
ピースフル立神(介護老人福祉施設)

④指宿やすらぎ園
〒891-0304 指宿市東方7531
☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912

指宿元元病院
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)
老人性認知症センター

⑤ラポール吉井
〒897-0001 南さつま市加世田村原1丁目10-10
☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788

アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
加世田アルテンハイム
グループホーム などでしこ

⑥シルバーライフちらん
〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016
☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096

ちらんクリニック

⑦さつま野菊園
〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397
☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950

大迫医院
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)
特別養護老人ホーム 石垣の里

⑧ヴァンペールみどりの風
〒891-0514 指宿市山川大山2056-4
☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522

指宿浩然会病院
指宿訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所

⑨サザンケアセンター
〒898-0011 枕崎市緑町236
☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233

サザン・リージョン病院
サザン訪問看護ステーション
南方園(介護老人福祉施設)

⑩指宿温泉ケアサポート
〒891-0311 指宿市西方1050番地
☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393

医療法人聖仁会

高齢者虐待の防止・早期発見のために 地域で支え合いましょう。

理解

虐待が起きる要因は様々です。介護する側・される側双方の不安や悩みを理解することが大切です。

見守り

ご近所に気になる高齢者や介護をしている家族がいたら、ちょっとした声かけをお願いします。

相談

困りごとを抱えている高齢者や家族がいたら、地域包括支援センター等への相談を勧めましょう。



高齢者虐待についてのご相談は、お住まいの市町村
又は地域包括支援センターへご相談ください。

※相談窓口となるお住まいの市町村及び地域包括支援センターについては、県ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

高齢者やその家族に関する相談

【鹿児島シルバー110番】

TEL.0120-165270 又は TEL.099-250-0110

認知症に関する相談

【公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部】

(相談日/月~金 10:00~16:00)※祝日は除きます

TEL.099-257-3887

TEL.099-251-4010(若年性認知症相談窓口)

【若年性認知症コールセンター】

(相談日/月~金 10:00~15:00)

TEL.0800-100-2707